

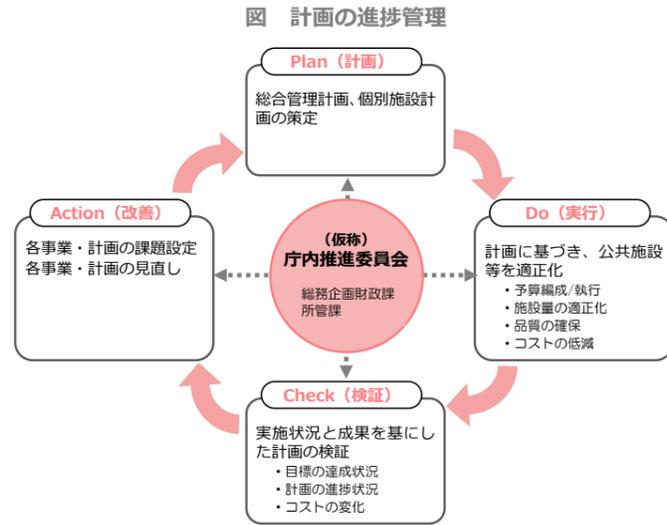
## 5. 計画の推進に向けて

### 計画の推進体制

- 本町が保有する公共施設等を総合的かつ計画的に管理するため、既存の会議体を活かして、全庁的な取組体制を構築し、一元的な情報管理、計画的な施設管理・運営を図ります。

### 計画のフォローアップ

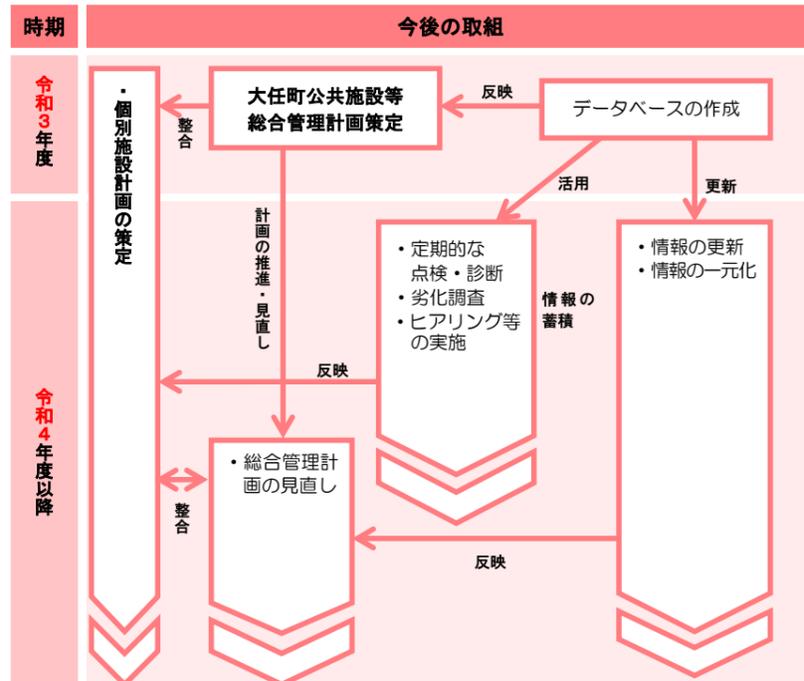
- 本計画を着実に実践するため、PDCAサイクルによる計画の進捗管理を行います。
- 進捗管理における評価結果等は、議会への報告やホームページ等で町民に情報公開に努めます。
- 町民と問題意識を共有するため、施設に関する情報等の積極的な開示を図ります。



### 今後の推進スケジュール

- 本計画は、40年間の中長期的視点に立ち、公共施設等の総合管理に向けた基本方針となります。
- 施設の所管課は、本計画の全体方針や類型別方針を踏まえ、優先性の高い施設から、個々の実施計画の策定を進め、公共施設等の適正配置を実施していきます。
- 今後は、社会情勢や財政状況等を踏まえ、必要に応じて計画の見直しを図りながら推進します。

お問い合わせは、下記までお気軽にご連絡ください



## 大任町公共施設等総合管理計画（概要版） 令和4年3月

■発行 大任町総務企画財政課 企画財政係  
 〒824-0512 福岡県田川郡大任町大字大行事 3067  
 TEL: 0947-63-3000 FAX: 0947-63-3813 E-mail: kikaku@town.oto.fukuoka.jp

# 大任町公共施設等総合管理計画（概要版）

## 1. 計画策定の背景と目的

●本町では2001年及び2010年前後の期間を中心に、公営住宅、学校教育施設などの建築物や道路、上水道などのインフラ施設の整備を行ってきました。

●人口減少や少子高齢化の進行等に伴う財政状況の悪化が見込まれる中、公共施設の老朽化が顕在化してきており、近い将来、一斉に改修・更新時期を迎え、多額の維持更新費が必要になることが予想されます。

●社会の構造や町民ニーズが公共施設等の建設時とは大きく変化すると考えられるため、公共サービスのあり方を改めて見直す必要性に迫られています。

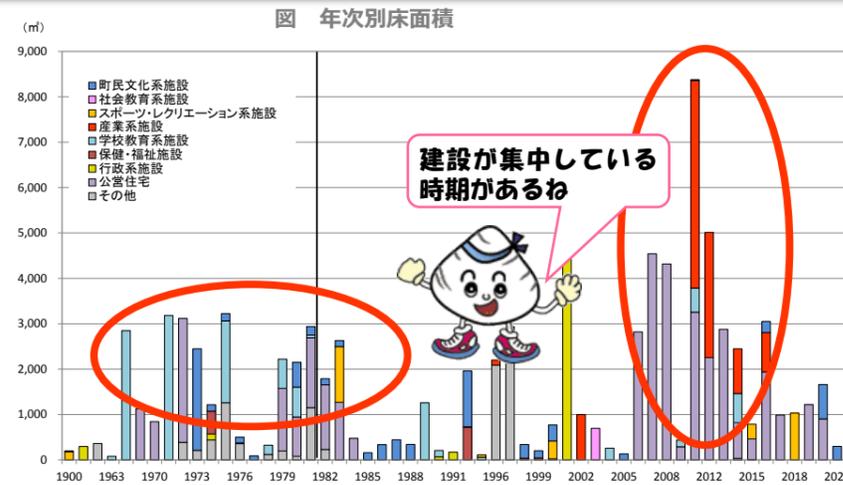
### 大任町公共施設等総合管理計画

単に公共施設等の規模縮小だけでなく、予防保全の観点からそれらをできるだけ長持ちさせるとともに、今後の人口構成や町民ニーズの変化に対応しながら公共施設の利活用を促進させ、効果的・効率的な整備及び管理運営を行うことを目的として、策定しました。

■対象施設：公共施設等（建築物・インフラ施設）

■計画期間：2022年度（令和4年度）から2061年度（令和43年度）までの40年間

## 2. 公共施設等の現状と課題



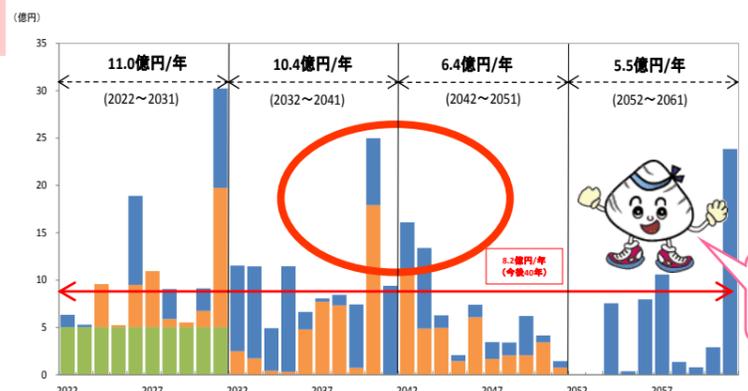
大規模改修が必要になる築30年以上となる建築物が約38%（床面積ベース）を占めています。

- 2001年及び2010年前後を中心に建てられた建築物が多くなっています。
- 1981（昭和56）年以前に建てられた旧耐震基準の建築物は、全体の床面積の約30%となっています。

建築物は、今後40年間で1年当たり約8.2億円の改修・更新費用が必要となります。

- 建築物は、今後40年間で327億円程度（建替え168億円、大規模改修158億円）の改修・更新費用が必要と見込まれます。
- インフラ施設（道路・橋梁、上水道）は、今後40年間で182億円程度の改修・更新費用が必要と見込まれます。

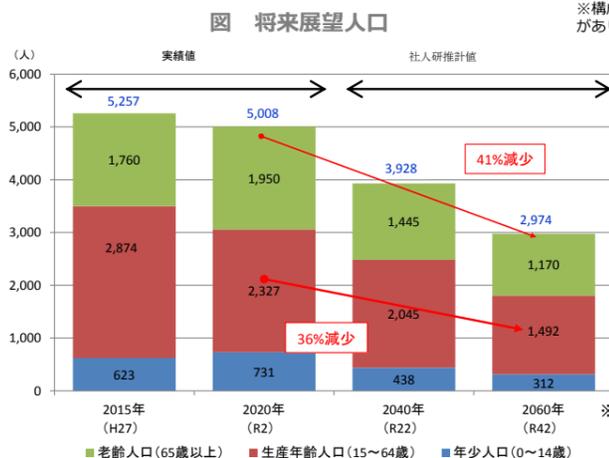
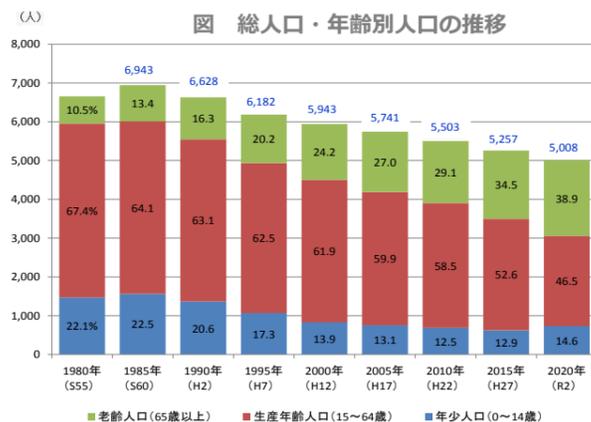
図 建築物の改修・更新にかかる経費（2022年～2061年の40年間）



## 人口推移と将来展望

人口は、**減少傾向**が続いています。

■本町の人口は、1985年をピークに減少傾向が続き、2020年国勢調査（確定値）で5,008人となっています。



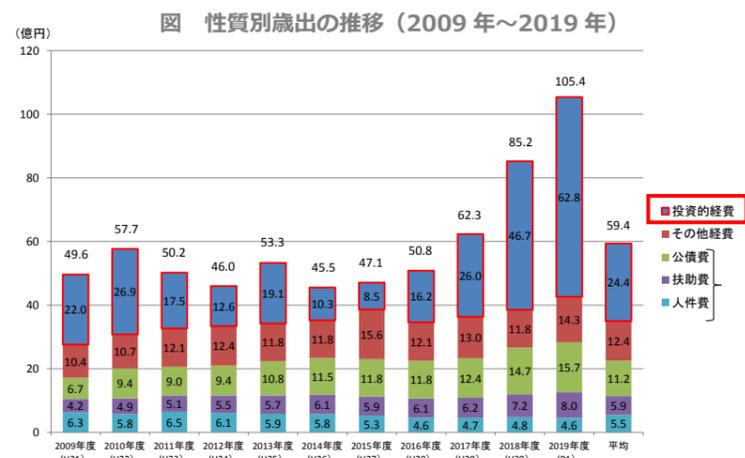
2020年と比較すると**2060年の人口は41%の減少**が見込まれています。

■2060年の人口は、2020年と比較すると、**41%の減少**が見込まれています。生産年齢人口(15~64歳)も同様に**36%の減少**が見込まれ、大幅な**税収の減少**が懸念されます。

## 財政

公共施設等の新設や改修等に係る**投資的経費の年平均は24.4億円**となっています。

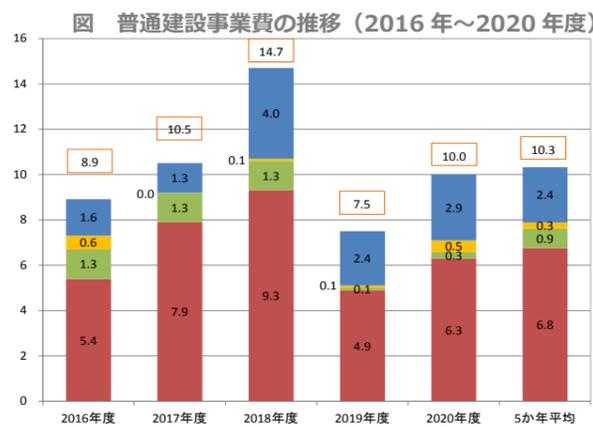
■2009年度~2019年度における歳出は、年平均59億円程度となっています。



公共施設に係る**普通建設事業費は年平均6.8億円**※となっています。

※2016~2020年度の5か年平均

■近年、大型プロジェクトが行われた年を除いた年平均(2016~2020年度)は10.3億円/年で、うち公共施設分が6.8億円となっています。



資料：総務企画財政課

## 3. 総合的かつ計画的な管理に関する基本的な方針

### 総合管理に向けた課題

現況や上位関連計画を踏まえ、4つの視点から課題を整理しました。

#### 施設の保有量

■将来の人口規模・財政規模に見合った適正な施設保有量の確保が必要

#### 施設の情報管理

■施設情報の一元化や円滑な運営体制の構築が必要

#### 施設の利用や運営

■ニーズに対応した行政サービスの提供が必要  
■施設利用面での改善(用途転換、複合化)が必要

#### 施設の安全性や快適性

■計画的に保全し、施設の長寿命化が必要  
■施設のバリアフリーへの対応や環境性能の向上が必要

### 5つの基本目標を設定しました

**1 公共施設の保有総量を最適化します**

- 建築物は、今後の人口減少や財政規模の縮小を十分に考慮し、必要な町民サービス水準を確保しつつ、施設総量の適正化を図ります。
- 新規整備よりも、現在ある施設の有効活用、広域連携による周辺市町の施設利用、施設の維持更新への投資を優先し、施設の建替え(更新)の際には、複合施設化により、機能を維持しつつ施設総量を縮減し、利便性を高めます。
- インフラ施設は、町民生活における重要性及び施設種別ごとの特性を考慮し、中長期的な経営視点に基づき、上位・関連計画に即した適正な供給を目指します。

**2 既存施設を有効活用します**

- 老朽化が著しいものの町民サービス上、廃止できない施設は、地域のニーズを踏まえて機能の複合化、多機能化を図り、効率的な施設配置を推進します。
- 本来の役割を終え未利用となっている施設については、地域の実情等に応じて施設の有効活用を図るため、施設の転用、用途変更について検討していきます。

**3 施設を長寿命化します**

- 今後も活用していく公共施設等は、これまでの事後保全から予防保全への転換及び、長期的な視野に立った計画的な改修・更新により、品質の保持・向上と長寿命化を推進します。

今ある建物もずっと大切に使い続けたいね



いつまでも住み続けられる町になるといいね

**4 効率的な施設管理・運営を行います**

- 施設管理の運用システムの構築、全庁的な推進体制の構築、民間活力の導入(PPP、PFIなど)も視野に入れ、総合的に検討し、効率的な管理・運営を図ります。

**5 まちづくりの視点を重視します**

- 施設の現状や課題を踏まえ、将来人口の構成や特性、ニーズなどを考慮しながら、大任町民が“住み続けたい”町外の人々も“住んでみたい”と思えるような公共施設等の総合的な管理を目指します。
- まちの活性化に積極的に貢献する「まちづくりの視点」を重視し、町の将来像、まちづくりの方向を見据えた公共施設等の再編を推進します。

### 全体方針

■全体方針は、以下の項目で構成されています。

- 統合・廃止の方針
- 点検・診断等の実施方針
- 維持管理・修繕・更新等/長寿命化の実施方針
- 安全確保の実施方針
- 耐震化の実施方針
- 総合的かつ計画的な管理を実現するための体制の構築方針

### 将来保有量

- 将来人口の見通し、財政面から将来保有量の目標を設定しました。**今後40年間で、全保有量の20%以上の削減(床面積ベース)を目指します。**

## 4. 施設類型ごとの基本方針

「3. 総合的かつ計画的な管理に関する基本的な方針」に基づき、施設類型ごとの基本方針を取りまとめました。内容の詳細については、本編をご覧ください。